

事業名(1)法に基づく障害福祉サービス事業及び地域活動支援センター

◆就労継続支援B型事業「あくと」「せるくる」◆

1. 活動(支援)実績

- ① 就労の機会の提供及び就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等の提供  
 「team あくと」は城崎温泉旅館の清掃作業や植樹管理などの役務作業に取り組んだ。利用者1名が就職をされ、土木部の活動が難しくなり、石洗いなどの役務作業を減らし、作業内容・作業量の調整を行った。  
 「team せるくる」は内職作業を中心に取り組んだ。除草作業など施設外就労の機会も提供した。石の包装作業など、仕事量は堅調を維持できるようになった。  
 利用者の増減については「team あくと」は1名就職のため退所・2名利用開始、「team せるくる」は3名退所・2名が利用開始された。

② 余暇活動

平日に昼食会としてお弁当やジャンクフードを食べた。また、祝日開所日としてイオン鳥取北店での買い物、芋掘り体験などを行った。

|    | 日時        | 内容                  |
|----|-----------|---------------------|
| 1  | 4月6日      | お花見                 |
| 2  | 6月27日     | 昼食会(施設内行事)          |
| 3  | 7月15日     | イオン鳥取北店へのお出かけ       |
| 4  | 9月19日     | 昼食会(施設内行事)          |
| 5  | 10月15・17日 | 芋掘り体験               |
| 6  | 11月20日    | 第3回事業所対抗ボーリング大会・昼食会 |
| 7  | 12月24日    | クリスマス会(施設内行事)       |
| 8  | 12月27日    | 仕事納めのそば             |
| 9  | 1月7日      | 昼食会(施設内行事)          |
| 10 | 3月8日      | イオン鳥取北店へのお出かけ       |

③ 健康管理

10月に定期健康診断を実施した。

2. 運営の実績

① 利用者定員 20人 ② 利用状況

|         | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 利用者数(人) | 18 | 17 | 18 | 18 | 17 | 17 | 17  | 16  | 16  | 16 | 16 | 16 |

② 事業収益

【収入の部】

|             |                      |
|-------------|----------------------|
| 城崎温泉旅館での収入  | ¥1,824,500           |
| 役務作業等での収入   | ¥596,473             |
| カバン等下請けでの収入 | ¥1,270,562           |
| ゴダイドラッグでの収入 | ¥117,250             |
| バザー出店等での収入  | ¥3,080               |
| 収入総額        | ¥3,811,865           |
| 利用者工賃       | ¥3,822,079           |
| 差額          | ¥-10,214(消費税、原材料費など) |

利用者一人当たりの平均工賃月額 ¥25.615-

### 3. 職員体制

| 職 種 | 管理者        | サービス管理責任者  | 職業指導員             | 生活支援員      | 目標工賃達成指導員  |
|-----|------------|------------|-------------------|------------|------------|
| 人 数 | 常勤兼務<br>1名 | 常勤兼務<br>1名 | 常勤専従2名<br>非常勤専従1名 | 常勤専従<br>1名 | 常勤専従<br>1名 |

### 4. 職員の資質向上

適切な利用者支援ができるよう、毎月職員研修を行った。作業や利用者個々の状況の共有を行い統一した支援が展開できるようミーティングを実施した。

#### 【外部研修】

- ・令和6年度兵庫県サービス管理責任者等実践研修
- ・令和6年度兵庫県サービス管理責任者等専門コース別研修

## ◆就労定着支援事業◆

### 1. 活動(支援)実績

- ① 就労移行支援等を利用した後、通常の事業所に新たに雇用された障害者の就労の継続を図るため、企業、障害福祉サービス事業者との連絡調整や相談、指導及び助言などの必要な支援

今年度の実施内容として、4月から当事業所からの就職者2名の支援を開始した。7月からはあくせるからの就職者1名を加え3名の支援を行った。3名の方いずれも就労は継続している。

今後の予定について、5年3月時点で他法人からの依頼含め、8名の支援が開始になる予定。次年度は職員体制の拡充も含めて定着が図れるよう支援を行う。

### 2. 運営の実績

- ①利用定員 なし      ②利用状況(月別登録利用者数)

|         | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 利用者数(人) | 2  | 2  | 2  | 3  | 3  | 3  | 3   | 3   | 3   | 3  | 3  | 3  |

### 3. 職員体制

| 職 種 | 管理者        | サービス管理責任者  | 就労定着支援員    |
|-----|------------|------------|------------|
| 人 数 | 常勤兼務<br>1名 | 常勤兼務<br>1名 | 常勤兼務<br>2名 |

### 4. 職員の資質向上

適切な利用者支援ができるよう、毎月職員研修を行い、外部研修等にも参加。作業や利用者個々の状況の共有を行い統一した支援が展開できるようミーティングを実施した。

## 令和6年度 多機能型事業所 Kirara 事業報告

### ◆就労継続支援 B 型事業◆

#### 1. 活動（支援）実績

##### ① 就労の機会の提供及び就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等の提供

定員 15 名。4 月に白兔養護学校卒業生 1 名が利用開始となり、12 名の登録で事業を開始した。6 月に日中一時支援利用で受け入れていた利用者が週 2 日で利用開始となり 13 名となった。5 月まで日中一時支援の受け入れを行った。支援学校生徒の現場実習の受け入れも行った。

利用者の年齢層が徐々に上がっていることもあり、機能低下の要因によってか作業の生産性が上がらないことが顕著になってきており、そのような状況を鑑み「地域協働による報酬」体系で、利用者の生活リズムにあった支援を提供している。下請作業に関しては、変わらず受注の減少が続き、コンスタントに受注できているのは 1 社のみの状況だった。町内の資源回収も低迷気味で売り上げは減少傾向である。従来の下請作業の他に、新温泉町の委託事業や、農家の方より芋づるを提供していただき民宿に卸す作業など、全員で取り組める作業にも力を入れた。その他、町内の個人様より墓掃除を請け負い従事し、豊岡の B 型事業所より作業をいただくなど利用者の工賃確保に努めた。また、コープこうべの見守り個配サービス事業への参加や、町内のバザーに参加した。バザーの数や参加の人数は少なかったが地域の方との交流や体験のよい機会となった。作業の他には、自主製品作りに力を入れた。バザーでの売り上げにはあまり結びつかなかったが、地域の陶芸家の方の作品とコラボした製品がわずかだが売れたことは、利用者の励みとなった。大雪警報により休所した日が 1 日あった。

##### ② 余暇活動

◎毎月 1 回、施設内行事の他に施設外行事として近隣の施設へ外出した。

| 実施月 | 内 容                   | 実施月  | 内 容                          |
|-----|-----------------------|------|------------------------------|
| 4 月 | 食事と買物<br>(道の駅神鍋高原)    | 10 月 | 施設見学<br>(砂の美術館)              |
| 5 月 | グラウンドゴルフ<br>(健康公園ドーム) | 11 月 | 事業所対抗ボーリング大会参加<br>(コープデイズ豊岡) |
| 6 月 | 食事と買物<br>(道の駅但馬蔵)     | 12 月 | クリスマス会<br>※施設内行事             |
| 7 月 | 食事と買物<br>(鳥取イオン)      | 1 月  | カラオケ大会<br>※施設内行事             |
| 8 月 | そうめんバイキング<br>※施設内行事   | 2 月  | 食事と買物<br>(鳥取イオン)             |
| 9 月 | 避難訓練<br>※施設内行事        | 3 月  | 温泉卵作りと図書館<br>(新温泉町内、岩美町)     |

◎毎月1回 クラブ活動（第1土曜日）、調理実習（基本は第2火曜日）を行った。

・クラブ活動

健康づくりをテーマに、ストレッチや100歳体操、新聞体操などを行った。

・調理活動

野菜を使った総菜や、シチュー、豚汁などの汁物、おやつ作りでバナナホットケーキなどを作った。

③ 健康管理

6月に定期健康診断を実施した。

## 2. 運営の実績

①利用定員 15人 ②利用状況（月別登録利用者数）

|         | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 利用者数（人） | 12 | 12 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13  | 13  | 13  | 13 | 13 | 13 |

②事業収益

|                 |             |
|-----------------|-------------|
| 段ボール回収収入        | ¥627,645-   |
| 下請け作業収入（税抜）     | ¥499,007-   |
| 新温泉町作業委託収入（税抜）  | ¥21,808-    |
| 作業収入合計          | ¥1,148,460- |
| 利用者支払い工賃・期末手当合計 | ¥1,148,379- |
| 差額              | ¥81-（材料代など） |

|                 |         |
|-----------------|---------|
| 利用者一人当たりの平均工賃月額 | ¥4,854- |
|-----------------|---------|

## 3. 職員体制

| 職 種 | 管理者      | サービス管理責任者 | 職業指導員             | 生活支援員     |
|-----|----------|-----------|-------------------|-----------|
| 人 数 | 常勤<br>1名 | 常勤<br>1名  | 常勤専従 2名<br>非常勤 1名 | 非常勤<br>1名 |

## 4. 職員の資質向上

適切な利用者支援ができるよう、毎月職員研修を行い、外部研修等にも参加。作業や利用者個々の状況の共有を行い統一した支援が展開できるよう週1回ミーティングを実施した。

【外部研修】

- ・人権セミナー 2名参加
  - ・HUG（避難所運営）体験会 1名参加
  - ・サービス管理責任者等専門コース別研修 1名参加
- ※会場での研修に参加した。

## ◆生活介護事業◆

### 1. 活動（支援）実績

#### ① 自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、入浴、排せつ及び食事の介護、創作的活動または生産活動の機会の提供

定員 15 名。4 月は 14 名の登録で事業を開始した。8 月に 1 名が利用を開始し、15 名となった。支援の方針は昨年同様に食事、排せつの介助や介護を行うとともに個人の利用目的に応じた個別的支援の実践や機能訓練を実施し、中央にフリースペースを設け機能訓練や余暇活動に使用している。また、クラブ活動以外にも、散歩など積極的に運動する機会や創作活動などを提供した。生産活動としては軽作業の機会の提供や、バザーの製品作りを積極的に行った。

大雪警報により休所した日が 1 日あった。

#### ② 生産活動

就労継続支援 B 型事業の作業ができる方には、個別にスケジュールを組み、支援者が進行管理と適切な場面で介助を行いながら作業を行った。

#### ③ 余暇活動

◎毎月 1 回、施設内行事の他に施設外行事として近隣の施設へ外出した。

◎買い物外出では、マスク着用が難しい方は、公園などで楽しめるようにするなど、引き続き感染症対策を行い実施した。

| 実施月 | 内 容                  | 実施月  | 内 容                          |
|-----|----------------------|------|------------------------------|
| 4 月 | お花見<br>(健康公園)        | 10 月 | グループ外出<br>(鳥取イオン他)           |
| 5 月 | ミニパフェ作り<br>(但馬牧場公園)  | 11 月 | 散策と温泉卵作り<br>(新温泉町内)          |
| 6 月 | グループ外出<br>(鳥取イオン他)   | 12 月 | クリスマス会<br>※施設内行事             |
| 7 月 | 調理実習とプチ夏祭り<br>※施設内行事 | 1 月  | 制作<br>※施設内行事                 |
| 8 月 | そうめんバイキング<br>※施設内行事  | 2 月  | 雪遊びか図書館<br>(但馬牧場公園か加藤文太郎図書館) |
| 9 月 | 避難訓練<br>※施設内行事       | 3 月  | 施設見学<br>(岩美ジオパーク館)           |

◎毎月 1 回（基本は第 3 木曜日）の調理活動と週 1 回（毎週木曜日）のクラブ活動を行った。

#### ・調理活動

焼きそば、カレー、豚汁、シチュー、おやつ作り（フルーツポンチ、ゼリー、ポップコーンなど）

#### ・クラブ活動

創作活動、さつま芋の苗植え、芋掘り、散歩、DVD 鑑賞、室内ゲームなど

#### ④ 健康管理

6月に定期健康診断を実施した。

### 2. 運営の実績

#### ① 利用者定員 15人 ②利用状況（月別登録利用者数）

|         | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 利用者数(人) | 14 | 14 | 14 | 14 | 15 | 15 | 15  | 15  | 15  | 15 | 15 | 15 |

### 3. 職員体制

| 職 種 | 管理者      | サービス<br>管理責任者 | 生活支援員               |
|-----|----------|---------------|---------------------|
| 人 数 | 常勤<br>1名 | 常勤<br>1名      | 常勤専従 2名<br>非常勤専従 3名 |

### 4. 職員の資質向上

適切な利用者支援ができるよう、毎月職員研修を行い、外部研修等にも参加。作業や利用者個々の状況の共有を行い統一した支援が展開できるよう週1回ミーティングを実施した。

#### 【外部研修】

- ・人権セミナー 3名参加
- ・サビ管研修 1名参加
- ・HUG（避難所運営）体験会 1名参加
- ・サービス管理責任者等専門コース別研修 1名参加

※会場またはリモートでの研修に参加した。

事業名（１）法に基づく障害福祉サービス及び地域活動支援センター

令和６年度 就労継続支援事業所あくせる事業報告

【就労継続支援 B 型事業所あくせる】

1. 活動（支援）実績

- ① 令和２年度の事業開始から９月で５年目に入りました。イオン和田山店エスタ専門店街協同組合和田山ショッピングセンターの委託作業である館内清掃や駐車場の美化作業及び施設外作業として高齢者デイサービスの浴室清掃は事業所開設時からあくせるの作業の主軸として毎日従事しており、将来的に雇用を視野に入れた専門的な技術を必要とするクリーニング店の委託作業とともに、障害福祉サービスを利用している人でも実社会で働く力が十分にあるということを一般社会の方に知っていただく良い機会となっており、利用者の就労に対する意欲と意識の向上につながっています。室内作業においても作業内容や作業時間を増やし、新規利用者受け入れの幅を広げつつあります。

利用者の動静については前年度１１月に市内の高齢者施設に就職された１名が事業廃止のため離職となり今年度１１月に再度利用を開始、１月に１名が豊岡市の企業に就職されました。利用者数の増減はほぼ変わりありませんが、利用日を増やした利用者が２名あり年間の延べ利用者数は増となりました。４年間の利用を経て一般企業に就職された利用者は、あいさつなどの社会的マナーや求められている事への理解、集中力などが実習時から高く評価され、障害者就労・生活支援センターリンクの協力のもと採用に至りました。

② 余暇活動

- 4/6 試食会
- 7/6 バーベキュー
- 10/5 調理実習
- 11/20 ボーリング大会及びランチ
- 12/9 クリスマス会
- 3/21 外出行事（ボーリング・ランチ）

③ 健康管理

10月に定期健康診断を実施。５名の利用者が参加。

2. 運営の実績

① 利用定員 10 名 ②利用状況（月別登録利用者数）

|      | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 利用者数 | 7  | 7  | 7  | 7  | 7  | 7  | 7   | 8   | 8   | 7  | 7  | 7  |

② 事業収益 利用者工賃

|                     |             |
|---------------------|-------------|
| 【収入 利用者一人当たりの平均工賃月額 |             |
| エスタ専門店街の収入          | ¥1,251,121- |
| 通所リハビリセンター日々青々の収入   | ¥474,000-   |
| その他内職での収入           | ¥324,980-   |
| 自主製品売上              | ¥11,122-    |
| 収入総額                | ¥2,061,223- |
|                     | ¥2,041,145- |
|                     | ¥27,874-    |

3. 職員体制

| 職 種 | 管理者        | サービス管理責任者  | 職業指導員                     | 生活支援員       | 目標工賃達成指導員  |
|-----|------------|------------|---------------------------|-------------|------------|
| 人 数 | 常勤兼務<br>1名 | 常勤兼務<br>1名 | 常勤専従<br>1名<br>非常勤専従<br>2名 | 非常勤専従<br>2名 | 常勤専従<br>1名 |

4. 職員の資質向上

- ・職員研修の参加及び日々のミーティングや月1回以上のケース会議を実施。
- ・外部研修 サービス管理責任者基礎研修  
兵庫県専門コース別研修  
兵庫県障害者職業センター 就労支援研修



### 3. 職員体制

| 職 種 | 管理者        | サービス管理責任者  | 職業指導員      | 生活支援員       | 就労支援員      |
|-----|------------|------------|------------|-------------|------------|
| 人 数 | 常勤兼務<br>1名 | 常勤兼務<br>1名 | 常勤専従<br>1名 | 非常勤兼務<br>1名 | 常勤専従<br>1名 |

### 4. 職員の資質向上

適切な利用者支援ができるよう、毎月職員研修を行い、外部研修等にも参加。作業や利用者個々の状況の共有を行い統一した支援が展開できるようミーティングを実施した。

#### 【外部研修】

- ・サービス管理責任者更新研修参加

## ◆指定生活介護事業「POM house」◆

### 1. 活動(支援)実績

- ① 日常的に介護の必要な方に対して、食事・排せつ・入浴等の生活面の介助支援の提供。また生産活動、その他の活動の機会を通じて、その知識及び能力の向上のための必要な訓練、その他の便宜を適切かつ効果的に行います。

令和6年2月に開所し、当初は2～3名の利用者と推移しておりましたが、今年度3月末で5名に。4月以降2名の新規利用者も確定。現在は朝ラジオ体操後、内職作業を行い、合間にリハビリなどを実施。午後からは個別活動で、内職作業をしたり散歩したり余暇を楽しんだり、入浴支援も実施。

#### ② 余暇活動

平日に利用者の方の希望を聞き、行事を実施。季節ごとの行事も取り入れ、利用者の方に季節感を感じていただけるように工夫をしました。

|    | 日 時 | 内 容                 |
|----|-----|---------------------|
| 1  | 4月  | お花見(施設内)            |
| 2  | 5月  | おでかけ(モンゴル博物館)       |
| 3  | 6月  | カラオケ                |
| 4  | 8月  | 納涼祭(バーベキュー)         |
| 5  | 9月  | 調理実習                |
| 6  | 10月 | おでかけ(城崎)            |
| 7  | 11月 | ボウリング大会 おでかけ(但馬ドーム) |
| 8  | 12月 | クリスマス会              |
| 9  | 1月  | 外食(アイティ)            |
| 10 | 3月  | イオン鳥取北              |

#### ③ 健康管理

10月に定期健康診断を実施した。

週2回 看護師によるバイタルチェックを実施した。

### 2. 運営の実績

- ① 利用者定員 10人 ② 利用状況

|         | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 利用人数(人) | 2  | 3  | 2  | 3  | 3  | 3  | 3   | 4   | 3   | 3  | 3  | 5  |

#### ② 作業

(有)出石プラ成型を1月より内職作業として開始

### 3. 職員体制

| 職 種 | 管理者        | サービス管理責任者  | 生活支援員               | 看護師         |
|-----|------------|------------|---------------------|-------------|
| 人 数 | 常勤兼務<br>1名 | 常勤兼務<br>1名 | 常勤専従 1 名<br>非常勤専従1名 | 非常勤兼務<br>1名 |

### 4. 職員の資質向上

適切な利用者支援ができるよう、毎月職員会議を行った。利用者個々の状況の共有を行い統一した支援が展開できるようミーティングを実施した。

【外部研修】

- ・令和6年度兵庫県サービス管理責任者等実践研修

令和6年度 事業報告

|       |                                |     |                     |
|-------|--------------------------------|-----|---------------------|
| 事業の名称 | 地域活動支援センターあべいゆ（事業開始／平成31年3月1日） |     |                     |
| 利用定員  | 10名                            | 職員数 | 6名 ※年度途中での退職等により2名減 |

| 令和6年度事業計画  | 報告   |
|--|--|
| <p><b>生産活動の場の提供</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>受託作業を引き続き行い、利用者に工賃として還元します</li> <li>就労経験の無い利用者にとって「働く」を意識していただくきっかけとします</li> </ul> <p><b>受託作業</b> 製菓店、四川料理店からの受託作業、コープこうべの「めーむひろば」業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自主製品として制作したクラフトバックや畑で収穫した野菜の販売を行います</li> </ul> <p><b>販売先</b> イオン和田山店、朝来市役所、朝来健康福祉事務所、あべいゆ玄関前</p> <p><b>行事、その他の活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クリスマス会や花見等、季節を意識する行事の他、書道やストレッチ等定例且つクールダウンにつながる行事を行い、余暇の幅を広げると共に気持ちの安定を図ります</li> <li>行事予定表は利用者と職員で作りに上げる時間をもち、利用者の出来る力を発揮する場とします</li> <li>日々の何気ない会話の中から利用者のニーズを拾い上げ、行事として取り組むことで自己肯定感の変化や、利用者間の繋がり強化を図ります</li> </ul> <p><b>送迎に関する対応</b></p> <p>それぞれの方の生活事情や力を見極めた上で必要と判断した方に対しての送迎を行い季節等のタイミングに合わせて送迎→自力通所への切り替えを行います</p> <p><b>地域との交流、啓発活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あべいゆ前での販売や近隣店舗の活用、交流を通じて地域に根差した活動を引き続き行います</li> <li>毎月行事予定表を作成し、翌月の予定の他、前月の行事等取り組みについても写真を取り入れ活動の啓発を行います</li> </ul> <p><b>生活に関する相談への対応</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>希望される利用者に対し個別に面談場面を作り、想いを聞き取りながら支援に繋がっていきます</li> <li>担当する相談支援専門員が付いている場合には連絡を取り合いながら支援にズレが生じない様な対応を行います</li> </ul> <p><b>健康面のフォロー</b></p> <p>感染症予防に関する情報や研修に対応すると共に、送迎車両の消毒等を継続します<br/>バイタルチェックについても引き続き行います</p> | <p><b>生産活動の場の提供</b></p> <p>四川料理店からの受託作業（袋詰め）の他、毎週木曜日にはコープこうべの「めーむひろば」業務を行いました。また、自主製品としてクラフト素材のバックや小物を作製し、製菓（委託販売）と共に販売を行いました。</p>  <p>朝来市役所本庁</p>  <p>生野支所（9月）</p>  <p>朝来支所（11月）</p>  <p>山東支所（7月、1月）</p> <p><b>毎月</b><br/>第2火曜：朝来市役所（各支所）で販売<br/>第4火曜：朝来健康福祉事務所で注文販売</p> <p><b>不定期</b><br/>あべいゆ前、とまり木、コワーキングスペース<br/>オーラへの販売も行いました。</p> <p><b>行事、その他の活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍以降大きな行事は控えていますが、書道やストレッチは継続的に行いました。また、散歩を兼ねた花見や避難訓練についても防火点検時に合わせて実施し避難先の確認に出ました。</li> <li>年度末には福知山市まで出掛け、市内の散歩や自分たちで稼いだ工賃でスターバックスコピーでの飲食を楽しみました。当日参加出来なかった方には土産を購入し、生きたお金の使い方を学ぶ機会にもなりました。</li> </ul> <p><b>送迎に関する対応</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>送迎専属の職員を配置することで安定的に送迎を行いました。</li> <li>それぞれが持つ力を奪うことの無い様、季節限定での送迎等個別対応を心掛けました。</li> </ul> <p><b>地域との交流、啓発活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あべいゆ前での販売を通じて地域活動支援センターに関心を持っていただき、収入UPにも繋がりました。</li> </ul>  <p><b>生活に関する相談への対応</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個別に面談を希望される利用者への対応の他、ステップUPを支援して行きたい利用者に対し、地域の資源の情報提供を行い、必要に応じて見学への同行等も行いました。<br/>→散髪に行けなかった方が予約をして散髪に出られるようになっておられます。</li> </ul> <p><b>健康面のフォロー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>共有する物に関しては現在も消毒を徹底しています。複数事業を利用されている方については、相談支援専門員やケアマネと連携し、状態の変化等ある場合には速やかに連絡を取り合う等の対応を行いました。</li> </ul> |

|  |   |
|--|---|
| <p>□職員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動日が限定される事業の中でも利用者支援に係るスキルアップは必要であるため参加可能な研修への参加を進めていきます</li> <li>・虐待防止に関する研修を年一回は必ず実施し、適切な支援の継続を目指します</li> </ul> | <p>□職員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止委員による研修を実施しました。</li> <li>・月一回の会議の場を利用し、利用者支援について丁寧に話し合う等、支援スキル向上を含めた話し合いを行いました。</li> </ul> |
|--|---|

□売上実績は以下の通りです

| 売上合計 |         | 内訳              |            |      |       |                 |      |                          |       |
|------|---------|-----------------|------------|------|-------|-----------------|------|--------------------------|-------|
|      |         | ピーターパン<br>販売手数料 | 自主製品<br>作成 | せるくる | しゃんらん | ピーターパン<br>はんこ押し | 和特販売 | アダチイン<br>フォメーショ<br>ンリサーチ | ソーイング |
| 4月   | 24,925  | 4,000           | 20,050     | 0    | 0     | 0               | 0    | 0                        | 875   |
| 5月   | 27,360  | 6,160           | 16,700     | 0    | 0     | 0               | 0    | 4,500                    | 0     |
| 6月   | 18,290  | 5,490           | 12,800     | 0    | 0     | 0               | 0    | 0                        | 0     |
| 7月   | 26,030  | 9,180           | 16,850     | 0    | 0     | 0               | 0    | 0                        | 0     |
| 8月   | 28,080  | 7,970           | 19,420     | 0    | 690   | 0               | 0    | 0                        | 0     |
| 9月   | 29,770  | 9,370           | 15,400     | 0    | 0     | 0               | 0    | 5,000                    | 0     |
| 10月  | 20,570  | 8,500           | 11,420     | 0    | 0     | 650             | 0    | 0                        | 0     |
| 11月  | 18,500  | 6,950           | 11,550     | 0    | 0     | 0               | 0    | 0                        | 0     |
| 12月  | 30,678  | 8,290           | 15,750     | 0    | 618   | 0               | 0    | 6,020                    | 0     |
| 1月   | 10,590  | 7,690           | 2,800      | 0    | 0     | 100             | 0    | 0                        | 0     |
| 2月   | 18,530  | 8,070           | 10,460     | 0    | 0     | 0               | 0    | 0                        | 0     |
| 3月   | 14,660  | 9,160           | 5,500      | 0    | 0     | 0               | 0    | 0                        | 0     |
| 合計   | 267,983 | 90,830          | 158,700    | 0    | 1,308 | 750             | 0    | 15,520                   | 875   |

イオン販売がなくなり自主製品が売れる場所が少なくなり（実質、市役所販売のみ）全体的な売り上げは減少しました。パンの委託販売は健康福祉事務所の注文販売の分を含めると例年程度の売上げ。外注作業の収入は仕事の依頼が少なかったこともあり全体的に減少しています。来年度は各イベント等への出店や店頭販売の工夫などをして自主製品での売り上げ目標額30万円を目指します。

□利用実績は以下の通りです（色付き部分のみ請求対象）

|    | 住所地 | 性別 | 利用状況 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 合計  |
|----|-----|----|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
|    |     |    | 4    | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 1  | 2  | 3  |     |
| 1  | 朝来市 | 男  | 13   | 11 | 8  | 14 | 11 | 10 | 13 | 10 | 12 | 11 | 10 | 13 | 136 |
| 2  | 朝来市 | 男  | 7    | 5  | 3  | 4  | 5  | 4  | 5  | 4  | 4  | 4  | 3  | 1  | 49  |
| 3  | 朝来市 | 女  | 20   | 20 | 18 | 3  | 17 | 14 | 21 | 19 | 9  | 0  | 14 | 19 | 174 |
| 4  | 朝来市 | 女  | 1    | 0  | 0  | 1  | 0  | 0  | 1  | 6  | 3  | 0  | 0  | 1  | 13  |
| 5  | 朝来市 | 男  | 21   | 21 | 20 | 22 | 19 | 19 | 22 | 19 | 18 | 19 | 18 | 19 | 237 |
| 6  | 朝来市 | 男  | 4    | 5  | 4  | 2  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 3  | 46  |
| 7  | 朝来市 | 男  | 4    | 3  | 7  | 4  | 4  | 5  | 6  | 5  | 3  | 4  | 5  | 5  | 55  |
| 8  | 朝来市 | 女  | 17   | 16 | 16 | 18 | 15 | 15 | 17 | 16 | 16 | 15 | 11 | 16 | 188 |
| 9  | 朝来市 | 女  | 3    | 3  | 1  | 3  | 0  | 0  | 1  | 2  | 0  | 2  | 1  | 2  | 18  |
| 10 | 朝来市 | 女  | 2    | 1  | 1  | 0  | 0  | 0  | 2  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 6   |
| 11 | 朝来市 | 女  | 15   | 18 | 6  | 11 | 15 | 11 | 14 | 6  | 1  | 10 | 14 | 19 | 140 |
| 12 | 朝来市 | 女  | -    | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | 7  | 6  | 7  | 20  |
| 13 | 朝来市 | 女  | -    | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | 2  | 2   |
| 14 | 朝来市 | 女  | -    | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | 0   |
| 15 | 養父市 | 男  | 3    | 4  | 8  | 10 | 5  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 30  |
| 16 | 養父市 | 女  | 0    | 0  | 1  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 2   |
| 17 | 養父市 | 女  | 0    | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   |

## 事業名（１）法に基づく障害福祉サービス事業及び地域活動支援センター

### 令和６年度 地域活動支援センター ピース 事業報告

#### 【活動（支援）実績】

昨年度２月に豊岡市野田に引っ越しをし、１階に生活介護事業 POMhouse、２階に地域活動支援センターピースというスタイルになり、環境が大きく変わる中利用者の方は安定的に過ごされています。当初ほとんどの利用者の方が個別対応、個室対応だったのですが慣れてこられた方もおられ、複数利用者での対応が可能になったり、１階の生活介護の利用者の方と交流ができたりと、利用者の方の成長が見られた１年でした。６月には１名の利用者の方が就労されたりと、各関係機関と連携を図る中で少しずつ実績もでてきています。当初活動の一環としてメルカリを実施していましたが希望される利用者の方が少なく、現在は同法人のせるくるより内職作業をいただいたり、１階の生活介護事業と一緒に（有）出石プラ成型のポリ祭り作業を活動の中に取り入れています。

#### １：実施内容

##### □通所に対する支援

障害状況により公共交通機関が利用できない方もおられるため、必要な方に送迎を実施しました

##### □日中活動

※個別対応の方が多いため、専門機関と相談しながらそれぞれに応じた支援を実施しました

- ・内職作業や職員との面談、個別スペースの提供
- ・生活介護事業との交流
- ・それぞれの体調や生活のペースに合わせた利用の時間帯での対応
- ・利用者と一緒に調理実習等、生活支援を意識した行事を実施
- ・法人内での交流を目的としたボーリング大会への参加
- ・

#### ２：定員及び実績

10名

|              | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  |
|--------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 登録者実数        | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 13 | 13  | 13  | 14  | 14 | 15 | 16 | 20  |
| 利用人数<br>(延べ) | 52 | 65 | 64 | 55 | 45 | 52 | 58  | 55  | 73  | 74 | 79 | 81 | 753 |

#### ３：管理運営

##### ①安全管理

⇒コロナ禍以降も感染症対策としての検温、消毒を継続しました

生活介護に配置されている看護職員（週１回勤務）とも必要に応じて相談出来る体制を構築しました

##### ②サービスの質の向上

⇒法人内研修に参加し、職員としての質の向上に努めると共に虐待防止委員会からの研修を受けることで職員それぞれの対応を振り返る機会を持ちました

- 事業名（2）法に基づく一般相談支援事業
- 事業名（3）法に基づく特定相談支援事業
- 事業名（4）法に基づく障害児相談支援事業
- 事業名（5）障害者の就労及び自立支援に関する事業

## 令和6年度 総合支援センターand 事業報告

相談スペース ポッシュ

（指定特定相談支援事業、指定障害児相談支援事業、指定一般相談支援事業）

但馬障害者就業・生活支援センター リンク

（雇用安定等事業、生活支援等事業、雇用就業・定着拡大推進事業）

### はじめに

令和6年度から、相談スペース ポッシュと但馬障害者就業・生活支援センター リンクは、総合支援センターandとして支援を開始しました。相談支援と就労支援が手を組んで、福祉サービス・就業・生活、また、児童・大人を問わず本人にとっての自立を支援していくことを目的としています。昨年度からの取り組みとして、同建物内におられる発達障害の専門機関とともに保護者向けの講座を開催し、子どもの将来について今のうちから知って考えていける機会として提供しています。児童期から就労も含む成人期までトータルに関わることができるのが当センターの強みとなっています。そのような支援を実施できる但馬地域唯一の支援機関として地域の障害児者の生活の充実に寄与していきたいと思っております。

令和6年度は、総合支援センターとは言うものの、両事業それぞれの動きとなっており、“一体的”とは言い難い体制だったように思います。令和7年度は、より事業間の垣根をなくして“総合支援センター”であるという意識を持っての支援を定着させていきたいと思っております。どの職員も両事業のことを説明できるように、お互いの事業について知ることを前提とした上で、両事業横断的に支援を行う職員を配置して事業展開していきます。

### 1. 相談スペース ポッシュ（相談支援事業）

#### 【事業の成果】

令和6年度の計画として、主に ①児童ケースへの対応 ②基幹相談支援センターとの連携 ③スキルアップのための積極的な研修への参加 を挙げていました。

- ① 4月から本格始動した児童の相談支援では、元々児童ケースを担当していた職員を主に各関係機関との調整等ケースを進めることができました。児童本人だけでなく、両親にも支援が必要なケースも多く、まさに総合支援センターとしての機能が必要だと感じました。
- ② 各市町の委託相談を受ける中で、新規ケースはほぼ断ることなく対応することができ、基幹相談とのやり取りも多く関わりが増えることでの関係性構築の機会にもなりました。
- ③ ケースが増えることで各相談員の相談支援スキルの必要性も増し、令和6年度は現任研修に2名参加、その他にも専門コース別研修（意思決定支援）などにも参加していますが今後も継続することと各自スキルアップを意識していきたいと思っております。

全体としては、児童相談と事業体制として機能強化1の加算をとることで、収入面は大幅にUPしました。主任相談支援専門員としても圏域、委託等の会議への参加、別事業所の相談支援専門員へ同行・SV、各相談支援専門員の各自立支援協議会への参加等で相談支援事業全体の課題抽出や活性化に努めることができました。

#### 【登録者数】

|      | 豊岡市 |    | 朝来市 |    | 香美町 |    | 新温泉町 |    | 京丹後 |    | 合計  |     |
|------|-----|----|-----|----|-----|----|------|----|-----|----|-----|-----|
|      | R5  | R6 | R5  | R6 | R5  | R6 | R5   | R6 | R5  | R6 | R5  | R6  |
| 委託相談 | 8   | 28 | 25  | 15 | 3   | 3  | 4    | 4  | 0   | 0  | 40  | 50  |
| 計画相談 | 65  | 92 | 30  | 39 | 12  | 11 | 29   | 31 | 1   | 1  | 137 | 173 |

（令和7年3月末）

#### 【サービス等利用計画相談給付費請求、受領業務】

「支援給付費受領額一覧」を更新し、新規ケースは契約時、継続ケースは会議等行った際に手渡しにて周知を行いました。

### 【利用者からの相談・苦情処理に関する業務】

- 契約時、重要事項説明書に基づき苦情処理に関する担当者や手順も周知を行い、問題が生じた場合には速やかに対応するための策を講じました。虐待防止委員会の設置についても契約書時、丁寧に説明を行いました。
- 相談については主に発達障害の方等、視覚優位な方に対しては聴覚からの負担（電話対応）よりも面談の機会を持つ様心がけると共に、面談の内容を文字や絵で示す等、面談場面の工夫とそれに必要な支援スキル向上のための研修の機会を持ちました。
- ポッシュでは担当者不在時に対応出来ない等の相談者にとっての不利益を避けるため明確な担当制を敷いておらず、関りの強弱はある中でも相談支援専門員誰もが状況を把握するため、全相談員と計4回会議を実施し、ケースの把握や柔軟な思考で支援に当たるための学びの場としました。

### 【ピアサポーターの活用】

法人で雇用しているピアサポーター3名（1名は新温泉町在住でケースが無いため実働無し）のうち2名が相談者との定期面談を実施し、意欲向上に向けた支援を行いました。また、保健所が主催する研修でのファシリテーターとしての参加や、自立支援協議会での実践報告、他事業所ケースに対する派遣業務にも積極的に参加しました。

| 実施内容             | 実施地域 | 効果  |
|------------------|------|---|
| B型利用者2名に対し月一度の面談 | 朝来市  | 対人関係に自信が無く、自殺を考えることが多かったが、本人の興味ある話を共通の話題としてゆっくりと聞く機会とすることで気持ちも軟化。現在は就労を意識し、通勤も自力通勤に切り替わった。声が小さく、何事にも自信が無かったが、運転免許取得に向け動き出し、取得することで就労に向けても具体的にイメージ出来るようになった。 |
| B型利用者1名に対し月一度の面談 | 豊岡市  | 月1回の面談を行う。途中で本人が就職委活動として活動されるようになり面談を終了。3月に就労されている。   |
| 保健所ケースに定期的な訪問    | 養父市  | 朝来健康福祉事務所が関わっているケースに対し保健師と共に対応。   |

### 【会議及び各種研修への参加】

| 項目          | 会議及び研修名                          | 実施地域 | 主な内容  |
|-------------|----------------------------------|------|---|
| 各種会議        | 生活困窮者自立支援会議                      | 朝来市  | 各機関との情報共有、生活困窮者の実態把握及び課題解決のためのネットワーク構築等。  |
|             | 圏域相談支援事業所連絡会                     | 但馬圏域 | 各相談支援事業所及び各地域協議会の現状等を把握し課題解決に向けての協議、検討を行う。  |
|             | 自立支援協議会                          | 豊岡市  | 地域の関係者が集まり、個別の相談支援の事例を通じて明らかに<br>なった地域の課題を共有し、その課題を踏まえて地域のサービス基盤の整備を着実に進めていくために全体会や運営会議、部会等を実施。 |
|             |                                  | 朝来市  |   |
| 香美町<br>新温泉町 |                                  |      |   |
| 法定研修        | 初任者研修<br>演習講師としての参加              | 兵庫県  | ロールプレイ、グループワーク事例検討等   |
|             | 現任者研修<br>受講生としての参加<br>演習講師としての参加 | 兵庫県  | グループスーパービジョン等   |

※法人内外研修問わず積極的な参加を行い、上記以外にも多くの研修に参加しました。内容については伝達研修での報告や報告書の提出で確認を行っています。また、勤務時間外に「自己研鑽」としてスーパービジョン研修を月に一度他事業所と共催し、対人援助技術向上を目指しています。

## 2. 障害者就業・生活支援センター リンク

(雇用安定等事業、生活支援等事業、雇用就業・定着拡大推進事業)

【支援対象者】

令和7年3月31日現在

| 項目   | 身体障害者 | 知的障害者 | 精神障害者 | その他 | 合計    |
|------|-------|-------|-------|-----|-------|
| 登録者数 | 42    | 215   | 145   | 102 | 504   |
| 相談件数 | 85    | 938   | 603   | 434 | 2,060 |

※年度途中で登録者の整理を行ったため、大幅な増加とならなかった。(3年間以上活動がない対象者に登録継続の意思確認を行った)

【地域の就労支援力の底上げのためのネットワーク形成・セミナーの実施】

|                        |  |
|------------------------|--|
| 但馬地域障害者雇用・就業支援ネットワーク会議 | <p>就労支援に係る連絡調整業務を円滑に行うことや、地域の就労支援に関する情報の共有を目的として、ネットワーク会議を開催し、各市町の自立支援協議会の就労に関する取り組みの共有、各市町障害福祉計画の進捗確認や就労アセスメントマニュアルの改善、地域課題の整理や対応などについて議論を行いました。</p> <p>・第1回：7/22、第2回：11/25、第3回：2/17</p>  |
| 但馬障害者就労支援連絡会議          | <p>障害者雇用や職場実習に関する企業情報の共有や就労支援スキルの向上を目的とした連絡会議を開催し、就労支援に関する地域課題や就労アセスメントの運用について議論を行いました。</p> <p>・第1回 6/24、第2回 10/28、第3回：1/27</p>  |
| 障害者就労支援フォーラム           | <p>『但馬地域障害者就労支援フォーラム』を豊岡公共職業安定所と共同開催(12/10)</p> <p>・セミナー「障害者の雇用支援」<br/>障害者雇用に係る助成金等支援制度について高齢・障害・求職者雇用支援機構及びハローワークから説明。</p> <p>・「障害者雇用の取り組み事例」 動画視聴</p> <p>・「興味のある専門的な仕事に挑戦しました」障害者雇用に取り組む企業とそこで働く当事者の方に登壇いただいて障害者雇用の現状についてお話しいただくパネルディスカッションを実施。</p> <p>参加者：関係者を除く43名</p> |
| 城崎温泉障害者インターンシップ事業      | <p>10/21～10/22 兵庫県ユニバーサル推進課及び兵庫県旅館ホテル生活衛生同業組合が実施する城崎温泉での障害者インターンシップ事業に協力し、城崎温泉における障害者雇用の促進と障害者の職域の拡大を図りました。</p> <p>参加者：11名</p>   |

【職場定着支援及び生活支援】

|                  |   |
|------------------|---|
| <p>在職者の交流会活動</p> | <p>在職中の支援対象者等に対して学習会と茶話会をセットにして4回開催し、職場での悩み等の相談、不適應課題への気づきや改善、趣味の共有等から就労意欲の向上及び職場定着の促進を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回：6/1<br/>「緊急時の対応について」をテーマに学習会および茶話会。<br/>参加者：11名</li> <li>・第2回：9/7<br/>豊岡市防災課の方を講師としてお招きして「災害時に備えてやっておかなければいけないこと、知っておくこと」という題名で、講演会を実施。<br/>参加者：10名</li> <li>・第3回：12/7<br/>「生活に必要なお金を知ろう」をテーマに学習会および茶話会。<br/>参加者：10名</li> <li>・第4回：3/1<br/>「健康に仕事を続けていくために」をテーマに学習会および茶話会。<br/>参加者：11名</li> </ul> <hr/> <p>スピンオフ企画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8/3 男子会・女子会<br/>「身だしなみについて」をテーマに上記集まりを開催。女子会には化粧品会社の方にメイクアップ講座を依頼。<br/>参加者：20名</li> <li>・10/5 ボウリング会<br/>ストレス発散や身体を動かすことを通じての交流を目的として余暇に特化した集まりを開催。<br/>参加者：15名</li> </ul> |
| <p>ピアサポート活動</p>  | <p>求職者や在職者を対象に、ピアサポーター（センターの支援により就労・定着している障害者等）を講師として招聘して交流会を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 7/3 日高共同作業所（就B）<br/>参加者：7名</li> <li>・第2回 3/19 新温泉町内の事業所を対象に開催<br/>（ここすぺーす、charm、のぎく）<br/>参加者：19名</li> </ul>  |

【事業主に対する支援】

|                           |  |
|---------------------------|--|
| <p>就労系障害福祉サービス事業所見学会</p>  | <p>中小企業等において障害者支援を担当する職員や障害者と一緒に働く職員等を対象とした交流の場として、豊岡公共職業安定所とともに開催。<br/>障害がある方の日頃の訓練や取り組みの様子を見学していただき、その後意見交換会を行いました。<br/>・就労継続支援 A・B 型事業所（2/26、2/27、3/4、3/5、3/10）</p> |
| <p>農業事業所見学会</p>           | <p>農業分野での障害者雇用の促進（福祉サービスの施設外就労含む）を目的とした、福祉サービス事業所を対象とした、農業事業所見学会を豊岡公共職業安定所と共催にて実施。（2/20）</p>   |
| <p>障害者就業支援アドバイザー派遣</p>    | <p>予定していた方（心理士）が法人内の別事業の委嘱を受けて、支援対象者や支援対象者が利用する事業所及び当センターへの助言をいただきました。</p>   |
| <p>中高年齢者の継続雇用に関する相談支援</p> | <p>企業で雇用している中高年齢者の継続雇用に関して、相談支援はもちろんのこと、実際の現場を訪問して就労の様子の確認やご本人と面談を行いました。</p>   |

【会議等への参加】

|  |   |
|--|---|
| 各市町自立支援協議会への参画                                 | 各市町の自立支援協議会に参画し、事業主への障害者雇用の啓発活動や支援者の就労支援スキルの向上、障害者就労に係る各種制度の創設など障害者就労やその支援に係る環境整備を行うとともに関係機関との連携強化を図りました。<br>参加会議名<br>・豊岡市障害者自立支援協議会全体会及びしごと部会<br>・朝来市障害者自立支援協議会全体会<br>・香美町障害者地域自立支援協議会運営会議及び実務者会議生活・しごとグループ<br>・新温泉町障がい者自立支援協議会実務者会議つながるグループ |
| 豊岡市ひきこもり支援連絡会議                                 | ひきこもりやニートの中には発達障害の疑いがある方がいらっしゃるということから、ひきこもり事例の支援についての議論に参加しました。  |
| 障害者就業・生活支援センター近畿ブロック経験交流会議                     | 主任就業支援担当が、開催地のセンターとして兵庫労働局にて「センターの現状と課題」について発表。就業支援担当者がオンライン会議に参加し、その他職員が傍聴参加。  |
| 兵庫県障害者就業・生活支援センター等連絡協議会及び兵庫県障害者雇用・就業支援ネットワーク会議 | 県内の関係機関と就労支援に関する情報交換や課題の共有化を行い、支援スキルの強化を図りました。<br>・連絡協議会（第1回 5/29日、第2回 11/8、第3回 2/10）<br>・ネットワーク会議（第1回：5/29、第2回：2/10）   |
| 障害者就業・生活支援センターと連携した雇用指導対策会議                    | 11/26 障害者雇用率未達成企業への雇用指導を公共職職業安定所と障害者就業・生活支援センターがと連携して進めていく方法を検討しました。  |
| 障害者就業・生活支援センター就業支援担当者研修                        | 7/9～12 就業支援担当者がオンラインにて受講し、必要なスキルを身に付けるとともに支援力向上を図りました。  |

【令和6年度実績】

| 項目                   | 令和6年度目標 | 令和6年度実績 |
|----------------------|---------|---------|
| 支援対象者数               | 500人    | 504人    |
| 障害者に対する相談・支援件数       | 1,900件  | 2,060件  |
| 職業準備訓練及び職場実習のあっせん件数  | 30件     | 24件     |
| 就職件数                 | 20件     | 20件     |
| 企業に対する相談・支援件数        | 550件    | 689件    |
| 企業訪問による定着支援件数        | 250件    | 266件    |
| 定着率（就職後1年） 前年度就職者が対象 | 92.8%   | 93.3%   |
| 職場実習協力企業数            | 25事業所   | 18事業所   |
| 訪問企業数                | 110事業所  | 132事業所  |

【訪問型職場適応援助者の配置】

【令和6年度実績】

| 項目   | 令和6年度目標 | 令和6年度実績 |
|------|---------|---------|
| 支援人数 | 2人      | 2人      |

今年度は、特別支援学校卒業生2名を担当しました。近年は、特別支援学校卒業と同時に『ひょうごジョブコーチ』を活用するケースが増えており、訪問型職場適応援助者の依頼が減少傾向にあります。そういった状況もあり、職場適応援助者の配置は令和6年度を持って終了とします。

令和6年度 事業報告

|       |   |
|-------|---|
| 事業の名称 | 居場所いろは（事業実施／令和2年10月1日～）   |
| 開設日   | 月、水曜日：9：00～12：30<br>金曜日：9：00～17：00（12：30～13：30は休憩、職員交代）<br>火、木曜日：相談日（地域活動支援センターあべいゆ内にて相談対応） |

| 令和6年度事業計画  | 報告   |
|--|--|
| <p><u>□SNS を活用した事業周知</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き公式 LINE、YouTube 等を活用し、事業周知を継続します</li> <li>年一回の朝来市広報へのチラシはさみ込みについても資料を準備して行きます</li> </ul> <p><u>□事業の対象者の絞り込みと具体的な支援に向けて</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全員が対象者とは言うものの、「居場所いろは」としての方向性を更に明確にするため、担当者で相談の機会を持つと共に担当課へのアプローチを試みます</li> </ul> <p><u>□研修の受講</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引きこもり支援に関する研修案内があった場合には積極的な参加を行います</li> </ul> <p><u>□関係会議への参加</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>会議案内を受けた際には出来る限り前向きに参加し、更なるネットワーク構築を目指します</li> </ul> <p><u>□相談者に合わせた支援</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>誰が対応しても、情報を共有し、その後の支援に対し個別の方向性を検討します</li> <li>複数対応が必要な場合には日程調整を行うことで内容に躊躇せず相談に応じる体制を構築します</li> </ul> <p><u>□関係機関との連携</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>担当課等から依頼を受けたケースについても対応していきます</li> </ul> | <p><u>□SNS を活用した事業周知</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>LINE、YouTube からの配信を継続することで圏域外からの相談者や関係者とも繋がるが出来、zoom で米原市議とも面談を行いました。</li> <li>3ヶ月分のスケジュールを加えたチラシを LINE にて配信すると共に、市窓口にも置いていただく等、啓発に努めました。</li> </ul> <p><u>□事業の対象者の絞り込みと具体的な支援に向けて</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>圏域外の方の取り扱い等、必要に応じて担当課へ確認を行いながら対応を行いました。</li> <li>常時所属する場所をお持ちの方でも伝えづらい状況等ある場合には「予備軍」として来所並びに公式 LINE 上でのフォローを行いました。</li> </ul> <p><u>□研修の受講及び関係会議への参加</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引きこもり支援に関する研修会に参加させ、支援技術の向上を図りました。</li> <li>年5回シリーズで担当課が研修会を実施され、いろはからも2名参加しました。</li> <li>担当課から依頼のあったケース会議に出席し、同じ事業を担うどんぐりの会のケースについて共に支援策を検討しました。</li> </ul> <p><u>□相談者に合わせた支援</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>完全なる引きこもりでは無いものの、コミュニケーション面に課題があり、容易に引きこもってしまうことが想定される方に対しても来所を勧める他、地域活動支援センター利用を提案する等、個別の支援を心掛け、1名は地域活動支援センター利用に繋がりました。</li> </ul> <p><u>□関係機関との連携</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまで数年間、ドーナツの会が訪問に出向かれていたケースについて、ドーナツの会と連携し自宅訪問を行い母親との面談を行うことで繋がりを継続しています。その後母親がいろはにも来られ、面談を行っています。</li> <li>民生委員さんの見学を受け入れたことで民生委員さんにとっても場所のイメージをつけることが出来、その後個別のケース対応として繋がる事が出来ました。</li> </ul> |